

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

青森県 田舎館村

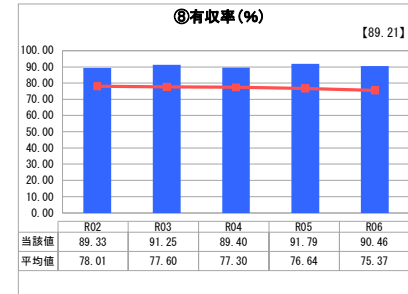
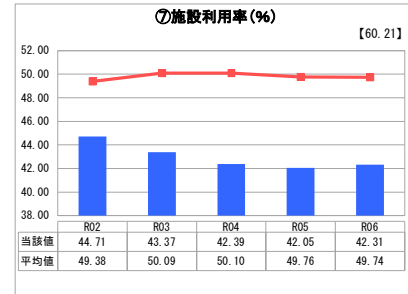
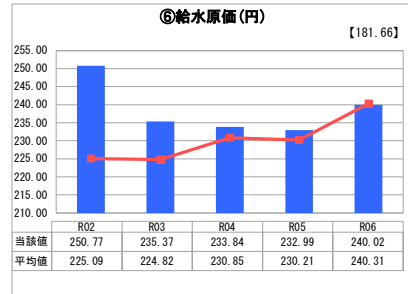
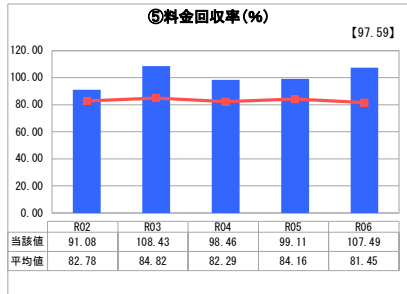
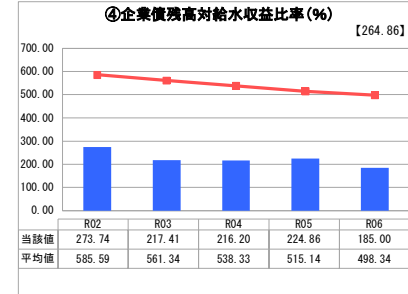
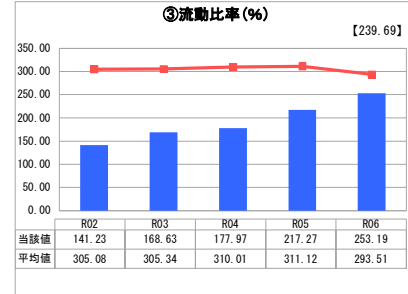
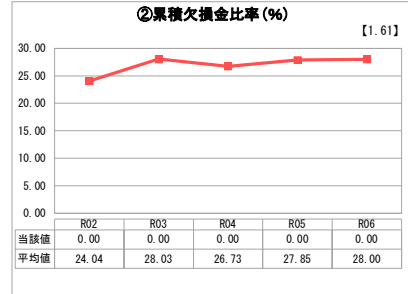
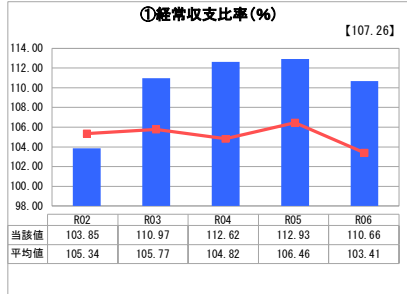
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金 (円)	
-	72.81	98.14	5,032	

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,239	22.35	323.89
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km <sup>2</sup> )	給水人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
7,055	22.35	315.66

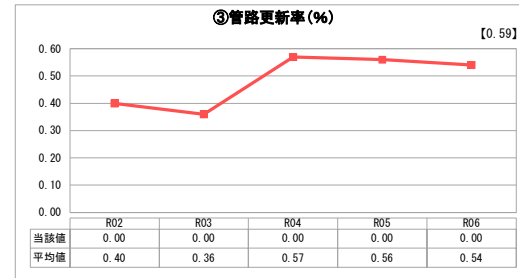
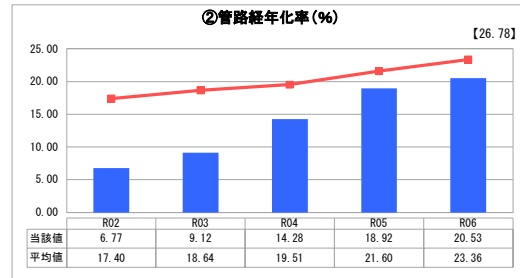
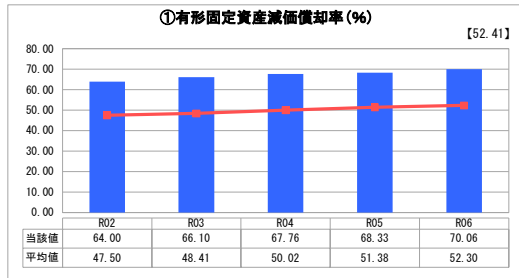
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度以降現在まで経常収支比率は100%超を維持し、黒字経営が続いております。  
 流動比率については、津軽広域水道企業団からの受水費見直し等の経費節減により上昇しておりますが、令和6年度から起債による設備更新等を実施しており、比率が低下傾向になっております。高比率を維持できるように設備更新等と経営の効率化を図ってまいります。  
 令和2年度、4年度及び5年度は料金回収率が100%を下回っておりますが、景気対策事業として水道料金等の減免事業を実施したためであり、減免した料金分は国庫補助金を財源とした繰出金により補てんされているため経営状態が悪化しているわけではありません。令和7年度以降に物価高騰対策として同様の減免事業を実施する予定です。  
 給水原価は、令和6年度は橋梁添架管及び配水管の漏水及び新設配水管の洗管等による無効水量及び無収水量の増加に伴い上昇しました。村の人口減少が著しく水需要の減少も一層進むことから引き続き上昇傾向になる見込みです。給水原価の高騰を抑えるため、受水費の見直しや設備更新により有収率の改善をめざします。

### 2. 老朽化の状況について

類似団体平均と比べて、資産の老朽度合いを示す有形固定資産減価償却率が高くなっており、アセットマネジメント計画に基づき令和5年度には配水場の計装設備等を更新しており、令和7年度には配水場の緊急遮断弁等を更新する事業を実施する予定です。今後も計画に沿った設備更新を進めてまいります。  
 管路経年化率は類似団体平均より低く推移しておりますが、令和6年度で20.53%となっており、令和7年度以降も法定耐用年数を超えた管が増加する見込みです。アセットマネジメント計画に沿った管路更新及び長寿命化を進めてまいります。

### 全体総括

現在のところは比較的良好な経営を維持しておりますが、当村においては人口減少が急速に進み給水収益が減少するのは確実な一方、物価高騰等により老朽化した管路や設備等の更新の費用負担は大きく増加しております。  
 経営の効率化、適正規模での設備更新（ダウンサイジング）を進めるため、経営戦略の改訂を実施します。また、物価高騰を踏まえた投資計画を策定します。今後も健全な経営を続けるため、水道料金の見直しについて検討を進めてまいります。